

* 楷書で記入し、略字などは使用しないこと。

2026 年度 奨 学 生 申 請 書

【大 学 院 学 生 用】(年 月 日現在)

(公財) 加藤朝雄国際奨学財団

理事長 加 藤 恵 美 殿

奨学金の支給を受けたく、申し込みます。

また、申請書及びその他提出書類一式に記載された事項に
虚偽のないことをここに誓います。

写 真 (5×4cm)

* 上半身のみで半年以
内に撮影したもの* 修正や加工をしてい
ないもの* 裏面に姓名・学校名
を記入、貼付のこと

氏名: サインまたは印鑑:

撮影日 年 月

フリガナ										
姓 名										
英 文 名	Family Name , First Name									
生年月日	年	月	日生	年 齢 2026 4.1 現在	満 才	性 別	男・女	結 婚	未 婚 ・ 既 婚 その他 ()	
フリガナ										
現 住 所	〒 () 市			電話 ()			-			
2026 年 4 月以降 在 籍 大 学 院	大 学 院 課 程	大学大学院 研究科 課程 年次								
	専 攻	所属講座名・研究室（ゼミナール）名等								
	入 学 日 年 月 日	年 月 日 入学								
	指 導 教 員	役 職 名 (フリガナ) 姓 名								
母 国 または 日本以外 の連絡先	英文表記									
	氏 名 (姓、名の順で 記入のこと)	本人との関係								
	英文表記									
住 所	〒 ()			電話 ()			-			
	[国名] []									

* 楷書で記入し、略字などは使用しないこと。

履 歴 書

(年 月 日現在)

(フリガナ)

姓 名

学歴等

1. 下記の学校区分に該当しない場合は、別紙または、“赤”で訂正、記入して提出すること。
 2. 該当がない箇所については「なし」と記入し、空白にしないこと。
 3. 学歴等欄にあてはまらない期間は別紙（A4・書式自由）に詳細を記入し、空白期間のないようにすること。

学 校 区 分	学 校 名 (所在地)	正 規 年 数	入 学 ・ 卒 業 年 月	専 攻 学 科
高 校 (母国・日本) 該当するものに○印	()	年	入学 年 月 卒業 年 月	
大 学 (母 国)	()	年	入学 年 月 卒業 年 月	
大学院修士課程 [博士前期課程] (母 国)	()	年	入学 年 月 卒業 年 月	
大学院博士課程 [博士後期課程] (母 国)	()	年	入学 年 月 卒業 年 月	
日本語学習校 (母国・日本) 該当するものに○印	()	年	入学 年 月 卒業 年 月	
そ の 他 専 門 学 校 等	()	年	入学 年 月 卒業 年 月	
大 学 (日 本)	()	年	入学 年 月 卒業 年 月	
大学院修士課程 [博士前期課程] (日 本)	()	年	入学 年 月 卒業 年 月	
大 学 院 (2026年4月以降) 在 籍 大 学 院	大学大学院 研究科 課程 年次	年	入学 年 月 卒業見込 年 月	
兵 役	過 去	年 月 日 から 年 月 日 まで		
	将来の予定	年 月 日 から 年 月 日 まで／不 明		
そ の 他 受 賞 歴 等				

職歴

(該当がない箇所については「なし」と記入し、空白にしないこと。ただし、アルバイト歴については、記載しないこと。

また、欄が足りない場合は別紙（A4・書式自由）に記入のこと）

勤 務 先 名 (所在地)	職 務 内 容 (役職名)	勤 務 期 間
()	()	年 月より 年 月まで
()	()	年 月より 年 月まで

* 楷書で記入し、略字などは使用しないこと。

日本語の習得

(年 月 日現在)

(フリガナ)
姓 名

日本語の習得について (内容を出来るだけ詳しく記入すること。)

1. 日本語を習得しようとした動機について

2. 日本語をいつ、どこで、どのような形で学習したかを記入

学校、会社、独学等	期 間	学 習 内 容

上記表以外で記入したい事項

3. 日本語能力試験

1. 該当するものに○印を付すこと。
2. 「有」に○印を付けた場合は、その内容を記入すること。

日本語能力試験の受験 有 ・ 無

取得した日本語能力試験のレベル []

* 楷書で記入し、略字などは使用しないこと。

身 上 書 (1)

(年 月 日現在)

(フリガナ)
姓 名

出身国住所

電話 () -

家族状況

1. 日本あるいは母国において、配偶者と子供がいる場合のみ記入すること。
2. 該当者がいない場合は一段目に「なし」と記入すること。
3. 勤務先または学校名欄で、無職・退職・主婦の場合は、該当するものを記入すること。
4. 記入欄が足りない場合や下記の区分に該当しない場合は、別紙または、“赤”で訂正、記入して提出すること。

家族姓名 姓、名の順で記入のこと	続 柄	年 齢	現 住 所	勤務先または学校名	※同居
					有・無
					有・無
					有・無
					有・無
					有・無
					有・無
					有・無
					有・無

配偶者の所属大学 (該当欄に☑をし、記入すること)

大学名	大学	学年 (2026年4月現在)	年次
☐ 学部生	☐ 修士課程		☐ 博士課程
学部	研究科 専攻		研究科 専攻

奨学金受給実績 (申請者本人)

奨学金の名称	給 付 金 額	受 給 期 間
	年額 円	年 月 ～ 年 月
	年額 円	年 月 ～ 年 月

1. 2026年4月以前の卒業大学及び大学大学院・在籍大学大学院に在学期間中、受給した奨学金を最新のものから2つ記入すること。
2. 該当がない箇所については「なし」と記入し、空白にしないこと。

* 楷書で記入し、略字などは使用しないこと。

身 上 書 (2)

(年 月 日現在)

(フリガナ)

姓 名

経済状況

1. 2025 年度の経済状況について、月額にて記入すること。
2. 各月または臨時的な状況等により 1 ヶ月の金額に変動がある場合は、平均した月額を記入すること。
3. 配偶者、子供と同居している場合は、世帯全体の経済状況を記入すること。
4. 収入・支出・差額欄とも必ず記入すること。なお該当がない箇所については「0」、または「なし」と記入し、空白にしないこと。

(単位：円)

世帯収入	申請者	本国等からの仕送り						仕送り者の氏名： 続柄：
		アルバイト						勤務先： 仕事内容： 期間（週 2 回等）：
		受給中の奨学金						奨学金の名称： 受給期間： 年 月～ 年 月
	配偶者	正社員・契約社員 アルバイト (該当するものに○を付ける)						勤務先： 仕事内容： 期間（週 2 回等）：
		受給中の奨学金						奨学金の名称： 受給期間： 年 月～ 年 月
	収入月額合計 (A)							
世帯支出		住居費						住居区分：寮・アパート・その他 () 同居家族： 人
	申請者	授業料						下記の年間授業料※欄の金額を記載
	配偶者	授業料						実際に支払っている月額授業料を記載
		生活費						
	支出合計月額 (B)							
差額 (A-B)								

年間授業料 (2025 年度実績)

該当欄に☑をし、申請者本人分のみを記入すること。

	☐ 全額自己負担	☐ 一部免除	☐ 全額免除
授業料	円	円	円
免除額		円	円
実際に支払う授業料	円	円	
※ 1 ヶ月当たりの授業料	円	円	

氏 名 _____

【自己アピール】

学習や日常生活などを通して、あなたが当財団に対してアピールできる点「日本留学の目的」、「大学院修了後に希望する進路」、「将来、日本と母国の懸け橋になるためのあなたの考える役割」を、具体的に書いてください。

(用紙が不足する場合は、本紙をコピーしてください)

「日本留学の目的」

[illegible]

氏 名 _____

【自己アピール】

学習や日常生活などを通して、あなたが当財団に対してアピールできる点「日本留学の目的」、「大学院修了後に希望する進路」、「将来、日本と母国の懸け橋になるためのあなたの考える役割」を、具体的に書いてください。

(用紙が不足する場合は、本紙をコピーしてください)

「大学院修了後に希望する進路」

This image shows a single sheet of white paper with horizontal blue or grey ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are approximately 20 lines visible. The paper has a slight texture and some minor discoloration or shadows, suggesting it's a physical document. There is no handwriting or other markings on the page.

氏 名 _____

【自己アピール】

学習や日常生活などを通して、あなたが当財団に対してアピールできる点「日本留学の目的」、「大学院修了後に希望する進路」、「将来、日本と母国の懸け橋になるためのあなたの考える役割」を、具体的に書いてください。

(用紙が不足する場合は、本紙をコピーしてください)

「将来、日本と母国の懸け橋になるためのあなたの考える役割」

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

氏 名

【研究テーマについて】

研究テーマ及び研究計画・内容を一般の人にもわかるように書いてください。

※制限字数：1枚あたり600字まで、制限枚数：2枚まで

(用紙が不足する場合は、本紙をコピーしてください)

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

氏 名 _____

【今までの主な研究成果（公表論文または学会報告等）】

研究テーマ欄には、論文のタイトル及び、論文の概要を2～3行で説明してください。

なお、論文は添付の必要はありません。※用紙が不足する場合は、本紙をコピーしてください。

公表 年月日	使用 言語	研 究 テ ー マ	公 表 雑 誌 名 ま た は 公 表 学 会 名 等
		_____ _____ _____	
		_____ _____ _____	
		_____ _____ _____	
		_____ _____ _____	
		_____ _____ _____	

推 薦 状

公益財団法人加藤朝雄国際奨学財団
理 事 長 加 藤 恵 美 殿

留 学 生 氏 名

推薦者（指導教員・学科主任等）

所 属 機 関

職 名

氏名（自筆）

印